

# 校是制定趣意

弘前大学教育学部附属学校園運営会議は、教育学部及び教職大学院と共に、理想的な社会の形成者の育成を目指し、幼稚園、小学校、中学校、特別支援学校が一体となり、一貫した教育を推し進めることを決意し、ここに校是を制定する。

我が国における教育の目的は、人格の完成を目指すこと、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた、心身ともに健康な国民を育成することである。

これまで我が附属学校園は、この目的の達成に向け、不断の努力を重ねてきた。しかし、あらゆる事柄が地域、国境を越えて、世界規模で結びつきが深まる時代となり、これまでに無い多様な価値観と共に、社会的、教育的課題が出現してきた。このことを踏まえれば、今後の附属学校園の教育の在り方を今一度再考し、時代に左右されない新たな指針を示す必要性に迫られていると言えよう。

今後、さらに多様性の増す時代にあっては、異なるものを排斥するのではなく、逆に多様なものを融合し、新たな価値の創造を基に社会を構築してゆくと考えるべきであろう。そして、そこで生まれる新たな課題も、多様であることを強みに変えることで、創造力を持って柔軟に対応し、解決することができるであろう。すなわち、人種、信条、民族、国籍、性別、性的志向・性自認、容姿、障害、その他、個に由来する一切の差異を受容し合える社会、言い換えれば、誰も見捨てられない、追い出されない、生きていることそのものの価値を大切にできる、そのような精神的基盤に裏付けられた社会が理想と考えられよう。

このような理想的社会の構成員となる幼児・児童・生徒を育成する本附属学校園には、自らの価値に基づいて自律的に判断、行動しつつ、多様性を受容しながら新たな価値観を醸成し得る教育の在り方が求められよう。

今後、弘前大学教育学部附属学校園は教育の目的の達成に向け、これまでの成果を礎としつつ、人を、学びを、学校、家庭、地域を結び、そして未来へと紡ぐ教育を本附属学校園の理念とし、教育学部及び教職大学院と共に、幼稚園、小学校、中学校、特別支援学校が一体となり、一貫した教育を推進することとする。

よって、ここに校是「結び紡ぐ」を制定する。

2020年12月7日

弘前大学教育学部附属学校園運営会議